

## 在学中から育む力～「自立活動」を通して

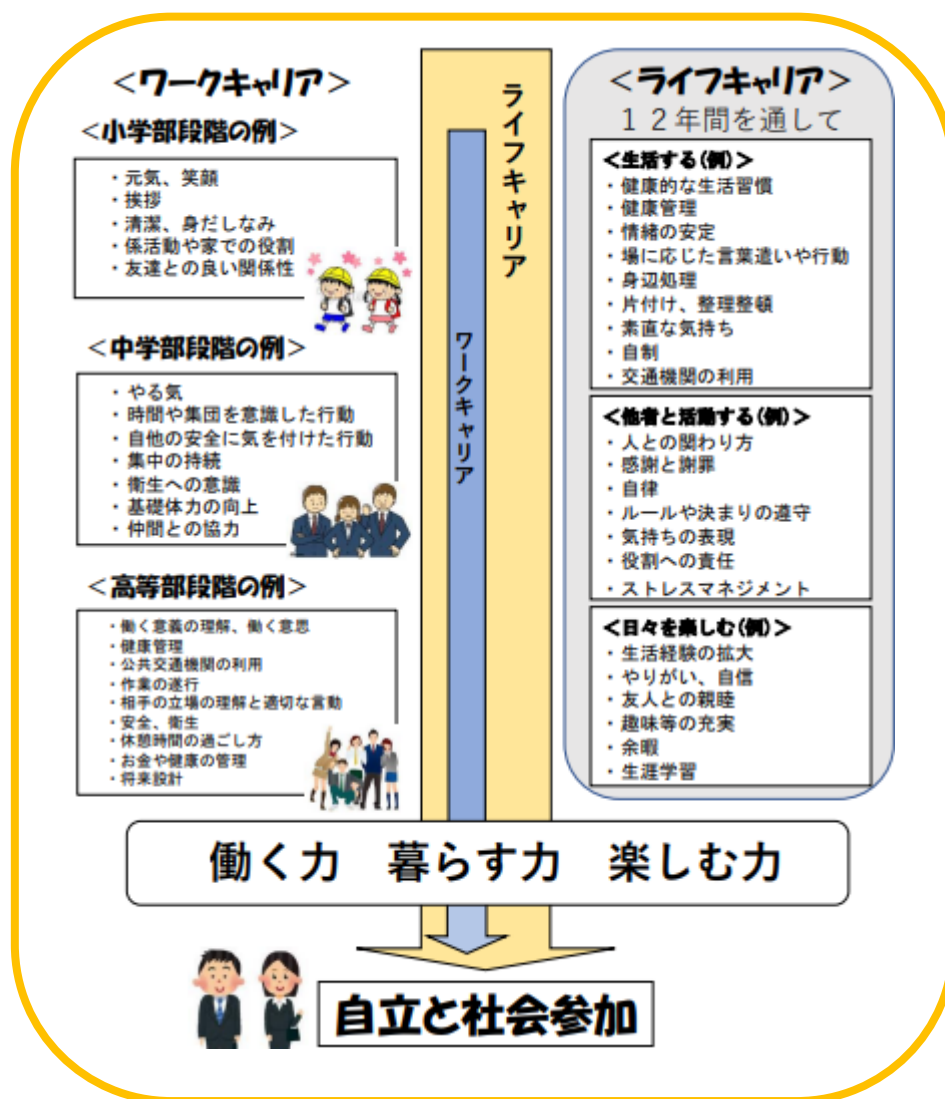
学校の学習活動に「自立活動」があります。

「自立活動」の目標は、『個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。』と示されています。

能代支援学校の小学部から高等部まで、「自立と社会参加」に向けたキャリア教育や進路指導において大変重要な内容です。

そこで、在学中から育む力のイメージと、本校小学部3年生の活動例を紹介します。

### 1 在学中から育む力（R7 進路の手引き より）



## 2 小学部 3 年生 自立活動の紹介

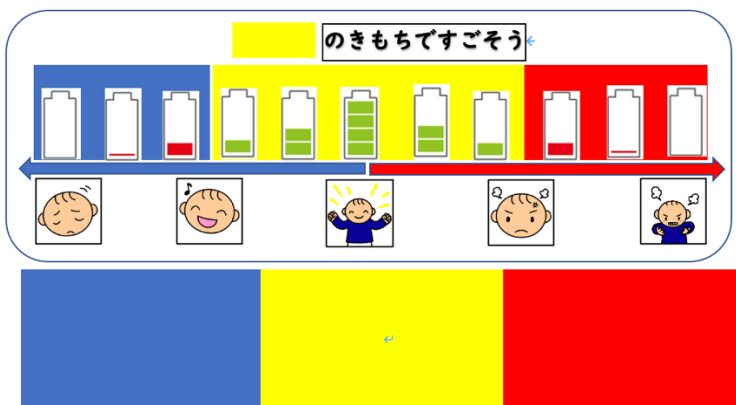
小学部 3 年生は、自分の気持ちや要求を言葉で相手に伝えることや、自分の気持ちや体調の状態を把握することをねらいとして、自立活動の指導を行っています。

Aさんは、電池のグラフを見ながら、自分の気持ちや疲れを教師と相談しながら、落ち着いた気持ちで1日過ごせるようにしています。自分の状態を電池の減り具合の「〇%」で表現しながら、心や身体の状態を教師と一緒に確認をしています。

Bさんはアプリの「Drop tap」を使用して、イラストを見ながら1日の予定を確認しています。確認しながら「2 時間目の休み時間は〇〇がしたいです」「〇〇先生と一緒に遊びたい」など要求を伝え、活動の内容や量を調整し、落ち着いて活動に参加できるようにしています。

上記の活動を通して、子どもたちが自己理解を深めたり、自分の要求や気持ちを適切な方法で伝えたりすることが、将来の進路へつながると考え、自立活動として取り組んでいます。

Aさんが使っている電池のグラフ



Bさんが使っているアプリ

